

# 長畝ふるさと通信

【2013年3月号】

## ■ 3月の農作業



金北山の頂にはまだ沢山の雪が残っています。ニュースでは「桜満開」などと報じられていますが、佐渡の春はまだまだ先になりそうです。田んぼでは5月からの「田植え」に向けて準備が進められています。田んぼの水保ちが良くなるように畦を塗って、水を貯めた田んぼはトラクターで泥を攪拌、細かくしていきます。田んぼを起こすと中から沢山の生きものたちが出てきて、それを頂きにトビやカラスが舞い降りてきます。



## ● 春の恒例作業「江流」は・・・

春の恒例作業「江流」には集落民約40人が参加しました。1年間、排水路に貯まった泥や砂利を綺麗にかき出して、水の流れを良くします。各自スコップや鍬を使って泥をすくい上げていきますが、これがなかなか重労働、腕から腰の筋肉はパンパンになります。諸先輩たちも疲労の色が隠せません。「あと何年出られるか・・・」高齢化の影がここにも・・・



辛い作業の中にも楽しみが・・・カエルのカップルに出会ったり(迷惑そうな表情が何とも)、砂利の中に沢山のシジミを見つけたり(昔の人は味噌汁にして食べていたんだとか)、オニヤンマのヤゴと再開したり(夏には立派な勇姿をみせてくれるでしょう)、少しずつ春の足音が聞こえてくるようです。夕方にはお約束通りトキのペアが我々の頭上を旋回して、ねぐらへと帰って行きました。

## ■ 放鳥トキの現状 75羽の生存確認(3月25日新潟日報より引用)

野生下のトキは23日現在、昨年生まれた若鳥8羽を含め、75羽の生存が確認されている。人工繁殖したトキを島内に放した数は、2008年9月25日の1次放鳥から12年9月28日～10月1日の7次放鳥まで計107羽。36羽が「死亡」とみられ、3羽が「行方不明」となり、猛禽類に襲われた1羽が保護されている。

<1次放鳥 08年9月25日>	生存 4	死亡 6		
<2次放鳥 09年9月29日～10月3日>	生存 7	死亡10	行方不明1	保護1
<3次放鳥 10年11月1日～6日>	生存 3	死亡10		
<4次放鳥 11年3月10日～13日>	生存12	死亡 6		
<5次放鳥 11年9月27、28日>	生存14	死亡 3	行方不明1	
<6次放鳥 12年6月8日～10日>	生存12		行方不明1	
<7次放鳥 12年9月28日～10月1日>	生存16	死亡 1		



今では家の近所で毎日のように見かけることができるようになりました。今年も昨年に続き、2世誕生を期待しています。そのために我々は一生涯懸命田んぼにつくし、美味しいお米を作ります。皆さんも是非支えてください。25年産米も宜しくお願い致します。